



▲佐原囃子の演奏にあわせ手踊りを披露



▲来園者の祝福の言葉に手を振って応える新郎・新婦（嫁入り舟）



▲千葉萌陽高校茶道部の皆さんによる初々しい野点

水郷佐原水生植物園 あやめ祭り

はなしょうぶ  
東洋一の花菖蒲に包まれて

あやめ祭りの最盛期、6月中旬には嫁入り舟を始め、さまざまなイベントが催され、多くの観光客が訪れました。

6月14日、野田芸座連と新橋本区の踊り手の皆さんを乗せた舟が園内を巡った後、舞台の上で佐原囃子の演奏にあわせ手踊りを披露。また、開放感あふれる野点や都市交流フェアなどでにぎわいました。15日には嫁入り舟が行われ、多くの来園者に「おめでとう！」と祝福されました。挙式を終えた二人は「船頭さんもかつて花嫁として嫁入り舟に乗ったという話を聞き、伝統を受け継ぐことができ感激しました」と話してくれました。

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

家庭教育講演会

悩んだら「ノック・ザ・ドア」

ニュースキャスターの安藤優子氏を講師に招いた家庭教育講演会が、5月24日に小見川市民センター「いぶき館」で開催されました。

悩んだらまずは「ノック・ザ・ドア（扉をたたいてごらん）」、つまり「話してみることが大切である」ということをアメリカ留学時に学んだ話や、初めての取材で大物政治家の自宅に行ったときのことなど、報道の第一線で働く講師の体験談が語られ、来場者は聴き入っていました。



▲キャスター歴35年の安藤優子氏

の現場か  
藤優子氏

鹿島ガタリンピックに市内小学生が参加

佐賀県鹿島市で泥んこ交流



▲香取市の児童が表彰台を独占

5月24日から26日までの3日間、課題作文を応募し、選考された市内の小学6年生8人が「ふるさとの自然、歴史、文化を活かしたまちづくり連携に関する協定」を締結している佐賀県鹿島市へ交流員として初めて派遣されました。

子どもたちは鹿島市長を表敬訪問し、抱負を発表。また、13カ国から約1,800人が参加した有明海の自然を生かしたイベント「鹿島ガタリンピック」へ出場し、地元小学生との交流会にも参加しました。子どもたちは鹿島市への理解を深めるとともに、香取市の若い力を十分に発揮しました。

## たくさん走って、たくさん蹴ったよ!

簡単なボール遊びを通じてサッカーを体験するキッズサッカーコミットが、6月1日に佐原河川敷緑地で開催されました。

参加したのは市内の小学生以下の子どもたち60人。県サッカー協会キッズ委員会のインストラクターや佐原中学校2年生の生徒たちが楽しく指導しました。ボールを高く投げ上げるなど、慣れることから始まり、シュート練習やゲームなどを体験。サッカーをあまりやったことのない子どもたちも多い中、友達と一緒にボールと触れ合うことで、楽しくプレーすることができました。



▲手をつないで元気にドリブル

## 童門冬二氏講演会「いま 伊能忠敬に何を学ぶか」

### 遅咲きの偉人 人の心をつかんで大成

歴史小説家でもある童門氏の講演を5月23日に佐原中央公民館で開催。伊能忠敬大河ドラマ化推進協議会による講演会には忠敬の生き方から晩成の秘訣を知ろうと100人以上の聴衆が集まりました。

不幸な幼少期から婿養子として伊能家の再興に尽力する中で、他人を思いやる「恕の精神」と「今やれることを目いっぱいやる」ことを信条とし人望を集めた忠敬翁。若い頃から手を振らず、小さなことでも積み重ねる努力と相手を思いやる人柄によって、周囲の理解や協力を得て晩年の偉業を成したと熱っぽく語っていました。



▲自身も退職後に「第2の人生」で小説家となった童門氏

# うちの子



さくらい ゆうと  
櫻井 結斗くん

1歳9カ月 (佐原口)

パパ 敏樹さん  
ママ 範子さん

お姉ちゃん大好き♡キュートな笑顔に癒されます♡



いしかわ さき  
石川 咲喜ちゃん

1歳9カ月 (玉造)

パパ 英俊さん  
ママ 佳代さん

いつもニコニコ♪わがやのアイドル♡



たかやす しりゅう  
高安 獅琉くん

1歳10カ月 (高萩)

パパ 紀郎さん  
ママ 由美子さん

車大好き。お姉ちゃんともたくさんじゃれ合うよ。



かとり たつみ  
香取 龍弥くん

1歳9カ月 (山之辺)

パパ 英範さん  
ママ 恵子さん

はたらく車大好き!我が家3人目の宝物です♡



くぼき るか  
久保木 瑠花ちゃん

1歳9カ月 (佐原イ)

パパ 謙介さん  
ママ 優美さん

歌と踊りが大好きです。お祭り楽しみだね♡



県立佐原病院に勤務する医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、放射線技師など、さまざまな職種のメンバーが集まって発足した佐原病院サッカー部です。チーム名のオスペダレは、イタリア語の病院という意味で、満場一致で「オスペダレ佐原」に決まりました。

私たちが香取市の医療を担って

いるという自負と責任感のもと、日々の忙しい仕事に懸命です。医療者は気力と体力が絶対不可欠であるため、フットサルで心技体を鍛えることで、より充実した精神力、体力を身に付けて、仕事に臨んでいます。また、職種を超えた信頼、つながりができ、日々の診療にも多くの効果をもたらしてくれています。

私たちのモットーである「自分に負けず、自分がやってみよう」という熱い気持ちを持ちながら、部活動と香取市の医療の充実のため、今後もより一層、心技体を鍛錬していきます。

## 仲間 サクル わ和輪

香取市の医療を担うため、心技体を鍛錬しています

佐原病院サッカー部(オスペダレ佐原)

- 活動日時 週1回の練習と月1回のフットサル大会参加
- 活動場所 成田市ANAクラウンホテルフットサル場、大栄B&G海洋センターなど
- 問い合わせ 佐藤 naniiein\_surgists@yahoo.co.jp